

ロシア（極東）

2002年のロシア極東経済

2002年、ロシアの鉱工業生産は3.7%増えたが、極東では0.9%の減少を記録した。しかし、州別で見ると、チュコト自治管区（20.5%）、ユダヤ自治州（11.0%）など伸びが目立つ地方もあった。2001年に減少（-15%）したのは沿海地方だけだったが、2002年には、カムチャッカ州（16%）及びサハリン州（12.5%）の2地域で鉱工業生産が減少した。

極東の小売売上高の伸び率はロシア全体より高く、サハ共和国、サハリン州及びチュコト自治管区はさらにその倍以上の成長率だった。消費者物価上昇率は、約33%となったチュコト自治管区以外は、ロシア全体とほぼ同じであった。失業者数は15%減り、特にユダヤ自治州、ハバロフスク地方及びマガダン州で30%以上の減少となり、全国と比較して著しく改善した。

2002年のハバロフスク地方及び沿海地方の社会・経済状況

極東ロシアの経済、政治、文化的な中心の座を競っているハバロフスク地方と沿海地方を比較してみたい。まず、ハバロフスク地方では2001年に鉱工業生産が12%増加したのに対して2002年は6%増と成長率が低下した一方、沿海地方の鉱工業は逆に15.2%減から1.2%増加となり、深い落込みに歯止めがかかった。

部門別で見ると、ハバロフスク地方は、燃料、石油精製、石炭採掘、鉄鋼、機械製造など基幹的産業では生産が増加したが、2002年に成長率が下がったり、マイナス成長になったりした部門が多かった。増加から減少に転換したのは、軽工業（2001年1.9%、2002年-17.8%）、漁業を含む食料産業（2001年2.6%、2002年-6.3%）などである。これに対し沿海地方は2001年に落ち込みのあった多くの産業で大きな増加が記録された。具体的には、化学・石油化学工業が160%（2001年-1.9%）、機械製造、金属加工が

15.6%（2001年-27%）、建築材工業が12%（2001年-7.9%）という好転を示した。固定資本投資は、ハバロフスク地方がその額（178億ルーブル）においても、成長率（19%増）においても、沿海地方（123億ルーブル、9%）を上回っている。

2002年の貿易額は沿海地方では17.9億ドルで、0.6%の増加となった。一方、ハバロフスク地方は16.3億ドルで、27%の減少を記録したが、これは機械製造部門の最大企業の一つであるコムソモリスク・ナ・アムール航空機工場の製品輸出権がモスクワの企業に移り、地方輸出とされなくなったためである。機械以外の輸出は25%増加した。輸出入の品目別構成は両地方でほぼ同じであり、輸出では水産物、木材、鉄鋼及び非鉄金属、輸入では機械・輸送機械、食料品とその原料及び日用品が圧倒的である。貿易収支は、両地方とも黒字であるが、2002年には輸出減と輸入増のため、その額が急減した。ハバロフスク地方では2001年の22.1億ドルから9.6億ドルとなり、沿海地方でも黒字額は僅か0.3億ドル（2001年は6.9億ドル）にまで減少した。

ハバロフスク地方と沿海地方の人口は2002年に、ともに0.7%減少し、それぞれ147.6万人と210.9万人となった。極東で最も人口が多い沿海地方は、小売売上高でも1位であり、2002年にこれは14.3%増加し、423億ルーブルに達した。ハバロフスク地方は小売規模が330億ルーブル（11.5%増）であるが、生活水準は高い。例えば、同地方の一人当たり平均現金所得は4,330ルーブル/月であり、沿海地方の3,074ルーブル/月を上回っている。

過去数年間、ハバロフスク地方の経済は比較的安定して成長してきたが、沿海地方経済は不安定であった。今後は、安定成長を維持、確保するためにも、基幹産業の安定的操業に向けて官民の協力を強化すること、輸出外貨や家計収入の増加を見越した食料品などの域内消費型産業を育成・強化すること、投資環境の整備及び公共投資における政府の役割を増やすなどの政策が不可欠であると思われる。

（ERINA調査研究部研究員 ドミトリー・セルガチョフ）

| | 鉱工業生産 (2002年) [前年比] | 小売売上高 (2002年) [前年比] | 消費者物価 (2002年) [前年12月比] | 失業者数 (2002年) [前年比] | 参考：地域総鉱工業生産 (2002年) [対全国比(対全地域比) %] |
|----------|---------------------------|---------------------------|------------------------------|--------------------------|---|
| サハ共和国 | 1.7 | 22.8 | 12.1 | 9.0 | 1.24 (28.78) |
| 沿海地方 | 1.2 | 14.3 | 13.6 | 1.2 | 0.71 (16.58) |
| ハバロフスク地方 | 6.0 | 11.5 | 17.6 | 32.1 | 1.09 (25.17) |
| アムール州 | 0.2 | 3.8 | 12.4 | 8.0 | 0.23 (5.26) |
| カムチャッカ州 | 16.0 | 2.0 | 14.1 | 22.6 | 0.29 (6.78) |
| マガダン州 | 6.9 | 7.2 | 12.3 | 30.0 | 0.23 (5.39) |
| サハリン州 | 12.5 | 18.3 | 17.6 | 23.9 | 0.44 (10.29) |
| ユダヤ自治州 | 11.0 | 18.0 | 19.9 | 34.1 | 0.03 (0.60) |
| チュコト自治管区 | 20.5 | 19.3 | 32.7 | 1.3 | 0.05 (1.16) |
| 極東 | 0.9 | 13.4 | 15.2 | 15.1 | 4.31 (100.00) |
| ロシア連邦 | 3.7 | 9.1 | 15.1 | 10.9 | 100.00 |

（出所）ロシア国家統計委員会「ロシア連邦管区の社会経済状況」四半期報、4号、2002年。